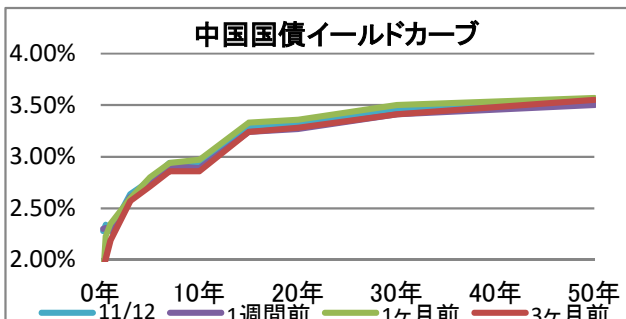
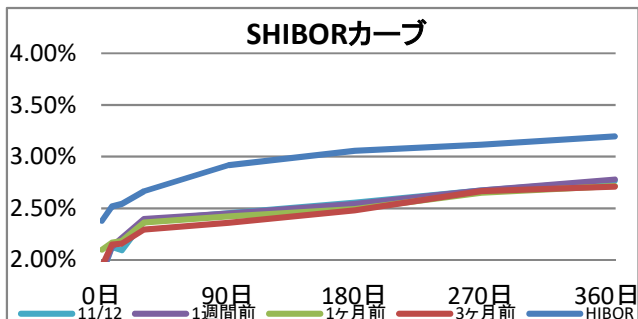


①市場概況

基準レート		2021/11/12	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4065	+0.0085
	JPY/CNY	5.6166	-0.0044
SHIBOR	3M	2.4540%	+0.0030%
国債利回り	10年	2.94%	+0.05%
上海総合指数		3,539.10	+47.53



(1) 概況

インフラ投資法案議会通過を好感して米国株式市場は最高値を更新する状況となっていたものの、同国のCPIが予想を上回る上昇となったことから下落に転じ、債券利回りは上昇し、ドルが強含む展開となった。今週初にバイデン米大統領と習主席のテレビ会談が実現する見込みとなり、両国関係の改善に期待する向きもあるものの、実務レベルでの事前協議でも鏝り合いが続く緊迫した状況となっている。

中国金融市場では、COVID-19感染再拡大への懸念はあるものの、中国人民銀行の排出量削減向け再融資制度や不動産融資規制強化の緩和期待もあって株式市場は反発し、債券市場はインフレ懸念への警戒から反落（利回りは上昇）。

中国では、習主席がAPECで冷戦時代のような分裂を回避し拡大開放による貿易と投資の推進を訴え、六中全会では歴史決議を採択して習主席による新時代の中国の特色ある社会主義の実現に向けて習主席の権威が高められ、今後100年の目標の秘訣として、改革開放の深化、共同富裕促進、科学技術の自立自強等を挙げている。中国人民銀行は排出量削減関連新規融資制度を開始し、同行の易総裁はデジタル人民元の開発と改善を続けると表明し、北京証券取引所は本日（15日）から取引を開始する。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日2,200億元に対し、新規リバースオペ5,000億元を実施し、2,800億元を供給している。中国人民銀行の今週16日のMLF期日8,000億元への対応が注目されている。

(3) 主な経済指標

・CPI (10月) は、前年比+1.5% (9月、同+0.7%) と、食品価格は下落が続いているものの、食品以外が燃料価格を主因に大幅に上昇したことより上昇幅が拡大している。

・PPI (10月) は、前年比+13.5% (9月、同+10.7%) と、資源価格の高騰による原材料価格の上昇を主因に4ヶ月連続となる上昇が続いている。購買価格も前年比+17.1%に上昇しており、企業業績への影響が懸念される状況にも変化はない。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8560%	1.8600%	2.0900%	
1W	2.1240%	3.5400%	2.3000%	2.0300%
2W	2.0930%	2.2000%	2.4000%	2.0500%
1M	2.3820%	2.3000%	2.4500%	2.2000%
3M	2.4540%	4.0000%	6.0000%	
6M	2.5560%	3.8500%		2.6400%
9M	2.6730%			2.7050%
12M	2.7670%	4.1500%		2.7350%

中国人民銀行が積極的に資金を供給し、週初には排出量削減支援の新規低利資金供給策が発表されていたものの、年末が意識されていることやインフレ懸念、不動産業界の信用不安等もあって、金利水準は下げ渋る状況が続いている。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、引き続き活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.10%、3ヶ月物は2.55%、6ヶ月が2.65%、1年が2.75%を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.09%	0.10%
3M	0.25%	0.30%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.45%	0.50%

資金需給に変化はないものの、米CPIの高い伸びが確認された後に一時的に金利が上昇したが、その後は落ち着きを取り戻している。ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%前後、3ヶ月は0.25%、6ヶ月0.35%前後での取引されているが、出合いは限定的。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.28%	2.28%	2.50%	2.63%	2.94%
6M	2.34%	2.34%	2.58%	2.71%	3.02%
1Y	2.28%	2.47%	2.75%	2.77%	3.10%
3Y	2.64%	2.84%	2.94%	3.13%	3.95%
5Y	2.77%	3.04%	3.24%	3.44%	4.39%
10Y	2.94%	3.25%	3.55%	3.77%	4.74%

債券市場では、COVID-19感染再拡大や不動産市況悪化による景気への影響が懸念されているものの、世界的なインフレ警戒感の高まり、不動産向け融資規制強化策の緩和への期待も高まり、債券利回りは上昇に転じている。10年国債の利回りは2.9%を底に2.95%程度まで上昇している。

イールドカーブは、短期が横ばいから低下する一方で、中長期では利回りが上昇したことからスティープニングに転じ、クレジットスプレッドは概ね横ばいとなっている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	26.9 / 35.0
1M	126.3 / 27.0
3M	454.0 / 455.8
6M	850.0 / 851.5
9M	1251.0 / 1252.5
12M	1644.9 / 1646.8

対ドル基準レートは6.4065と前週末比+85pipsのドル高元安となったものの、対円基準レートは5.6166と同-44pipsの円安元高となり、対ドルでは6.4を挟んだ設定が続いている。国内市場では、長期的なドル高期待はあるものの、年末に向けた輸出企業の外貨売りが続いており、これを中国大手銀行が買い受けることで過度の人民元高を抑制しており、6.4を大きく割り込む状況にはなっていない。

先物は、人民元金利の低下と米ドル金利の上昇に対する期待や、輸出企業のドル売りから縮小が続いており、1年物では1600台半ばまで縮小している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.30%		2.09%
6M	2.31%	2.52%	2.10%
9M	2.32%	2.57%	2.13%
1Y	2.33%	2.62%	2.15%
3Y	2.52%	2.93%	2.33%
5Y	2.73%	3.18%	
7Y	2.87%	3.33%	
10Y	3.01%	3.48%	

スワップ金利は、債券利回りが上昇したことから、若干上昇している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは債券利回りの上昇幅の方が大きく、小幅な縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。